

【広島市消費者物価指数】

1 平成 25 年 6 月の動向

- 広島市総合指数（99.5）は前月比で同水準。前年同月比は 13 か月連続の下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.7）は前月比で同水準。前年同月比は 14 か月連続の下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（98.3）は前月比で 5 か月ぶりの下落。前年同月比は 22 か月連続の下落。

2 総合指数, 生鮮食品を除く総合指数, 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	99.5	0.0	▲0.2
生鮮食品を除く総合指数	99.7	0.0	▲0.2
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	98.3	▲0.1	▲0.9

3 前月からの動き

～光熱・水道は上昇, 被服及び履物, 交通・通信及び教養娯楽は下落。～

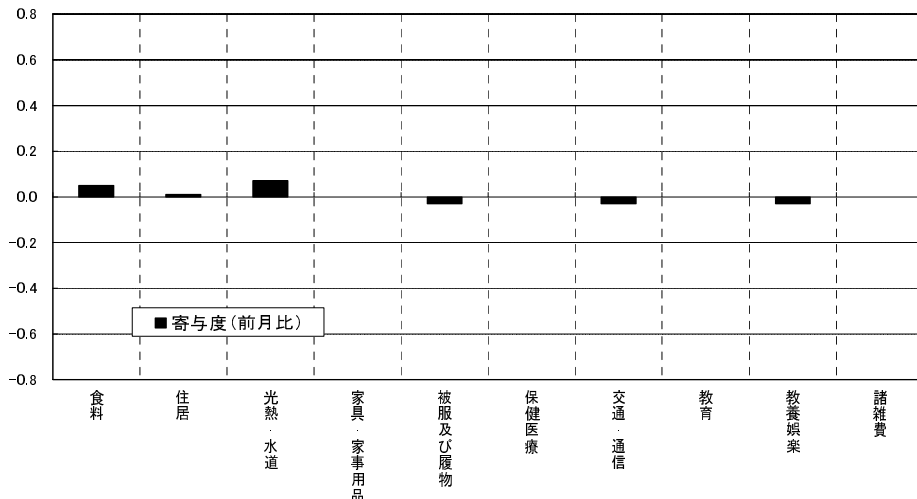
(1) 10 大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	99.5	99.1	98.9	108.5	92.7	101.2	98.7	101.9	98.8	92.5	104.1
前月比 (%)	0.0	0.2	0.1	0.9	0.0	▲ 0.7	0.1	▲ 0.2	0.0	▲ 0.3	0.0
寄与度	0.0	0.05	0.01	0.07	0.00	▲ 0.03	0.00	▲ 0.03	0.00	▲ 0.03	0.00

(参考) 主な要因となっている 10 大費目について、寄与の大きかった中分類項目

- 光熱・水道：電 気 代 (前月比 1.3%, 寄与度 0.05) 等
- 被服及び履物：シャツ・セーター類 (前月比 ▲1.9%, 寄与度 ▲0.02) 等
- 交通・通信：交 通 (前月比 ▲0.6%, 寄与度 ▲0.02) 等
- 教 養 娯 楽：教 養 娯 楽 用 品 (前月比 ▲2.0%, 寄与度 ▲0.04) 等

図 1 10 大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
魚介類 (えび 等)	3.5%	教養娯楽用品 (切り花[カーネーション] 等)	▲2.0%
電気代 (電気代 等)	1.3%	寝具類 (布団 等)	▲8.3%
ガス代 (都市ガス代 等)	1.1%	菓子類 (ビスケット 等)	▲1.4%
穀類 (もち 等)	1.1%	肉類 (鶏肉 等)	▲0.9%
家庭用耐久財 (ルームエアコン 等)	1.7%	交通 (料金[JR, 在来線] 等)	▲0.6%

4 前年同月からの動き

～光熱・水道及び交通・通信は上昇、教養娯楽は下落。～

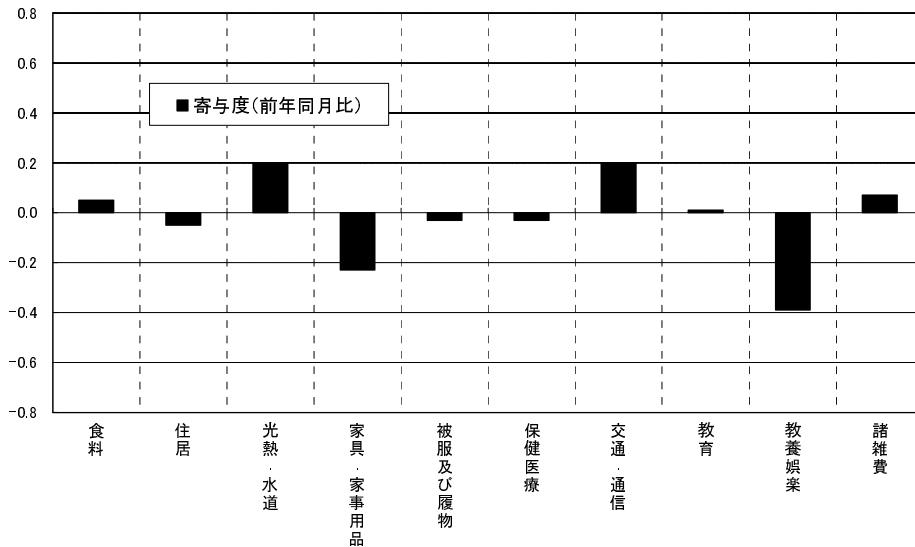
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲0.2	0.2	▲0.3	2.5	▲5.8	▲0.7	▲0.7	1.5	0.4	▲3.6	1.1
寄与度	▲0.2	0.05	▲0.05	0.20	▲0.23	▲0.03	▲0.03	0.20	0.01	▲0.39	0.07

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

- 光熱・水道：電気代 (前年同月比 3.1%, 寄与度 0.12) 等
- 交通・通信：自動車等関係費 (前年同月比 3.7%, 寄与度 0.27) 等
- 教養娯楽：教養娯楽用品 (前年同月比 ▲8.2%, 寄与度 ▲0.16) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
自動車等関係費 (ガソリン 等)	3.7%	教養娯楽用品 (トレーニングパンツ 等)	▲8.2%
電気代 (電気代 等)	3.1%	教養娯楽サービス (インターネット接続料 等)	▲2.1%
身の回り用品 (ハンドバッグ[輸入品] 等)	8.7%	家庭用耐久財 (電気冷蔵庫 等)	▲8.3%
外食 (ハンバーガー 等)	1.5%	教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	▲6.3%
ガス代 (都市ガス代 等)	3.0%	寝具類 (布団 等)	▲23.1%